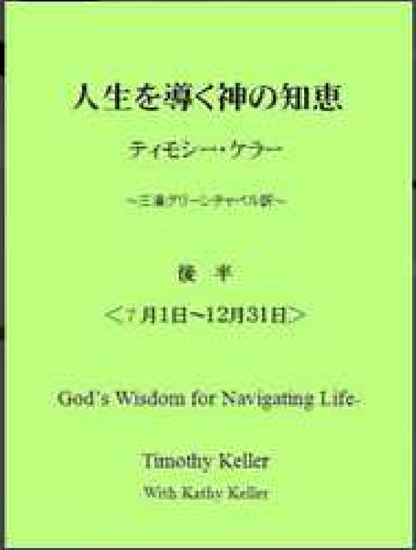
弱者の神

シリーズ～神の知恵～

2019/12/1


人生を導く神の知恵
ティモシー・ケラー
～三浦グリーンチャペル訳～
後 半
＜7月1日~12月31日＞
God's Wisdom for Navigating Life-
Timothy Keller
With Kathy Keller

正義　11月24日～12月14日

- 箴言は「正義の書」でもある
  - 「正義と裁きと公平に目覚めるため。」（箴言1:3）
- この世界に存在する格差や貧困
  - 26人＝38億人という現実・8億人の飢餓人口
  - 日本でも7人に1人の子どもが貧困（米1／4）
- 正義を行う事は神の願い
  - 「あなたの口を開いて正しく裁け／貧しく乏しい人の訴えを。」(31:9)
- 「できなかった」はゆるされない
  - 「『できなかったのだ』などと言っても／心を調べる方は見抜いておられる。」(24:12)

貧困の原因①

- 金持ちの横暴（11／29）
  - 「貧しい人の耕作地に多くの食糧が実っても／正義が行われなければ奪われる。」(13:23)
  - 「私たちは自分の繁栄を自分の功績だと思いすぎる傾向にあります。」TK
- 歪んだ社会構造（11／30）
  - 「災いだ、恵みの業を行わず自分の宮殿を／正義を行わずに高殿を建て／同胞をただで働かせ／賃金を払わない者は。」エレミヤ22:13
  - 政治や経済のシステムも貧困を生み出している（12／11・12）

貧困の原因②

- 不運（災害・戦争）（12/1）
  - 「貧しい人を嘲る者は造り主をみくびる者。災いのときに喜ぶ者は赦されない。」(17:5)
  - 「洪水、火事、事故による怪我、莫大な医療費、家計の主な維持者の死など」TK
- 自己責任（12/2）
  - 「大酒を飲み、身を持ち崩す者は貧乏になり／惰眠をむさぼる者はぼろをまとう。」(23:20-21)

貧困の原因②

- 不運（災害・戦争）（12／1）
  - 「貧しい人を嘲る者は造り主をみくびる者。災いのときに喜ぶ者は赦されない。」（17:5）
  - 「洪水、火事、事故による怪我、莫大な医療費、家計の主な維持者の死など」TK
- 自己責任（12／2）
  - 「大酒を飲み、身を持ち崩す者は貧乏になり／惰眠をむさぼる者はぼろをまとう。」（23:20‑21）

貧困の原因は抑圧、社会構造、災害や戦争、そして自己責任など、様々な要素が複雑に絡み合っている。決して貧者を見下してはならない！

弱者の神　12／4

昔からの地境を移してはならない。みなしごの畑を侵してはならない。(23:10-11)

- 富んでいる者は神に好まれていると誤解する
  - 「古代の社会では、上流層の人々は神々と特別な関係をもつ人々と考えられていました。ヨブの友人たちも同様に、神は繁栄している者と共にあると信じていました。」TK＞現代も同じ！
- 神の肩書きは「みなしごの父」（詩編68:6）
  - 「神が「貧しい人々の弁護人」と紹介されていることは、それが神のこの世で最も気にかけていることの一つであることを示しています」TK

関心を払う　12／6

正しい人は貧しい者の訴えをかえりみる、悪しき人はそれを知ろうとはしない。(29:7／口語訳)

- 貧しい人々の声に耳を傾ける
  - 「この箇所にある「かえりみる」は、原語では物ごとを追求する、徹底的に調べるという意味です」TK
- 「知ろうとしない」ことも「悪しき」こと
  - 「直接貧しい人々を利用したり虐げたりすることは間違っていますが、彼らのことを「知ろうとしない」こと、つまり彼らの必要に関心を払わないことも「悪しき」ことだということです！」TK
  - 「愛の反対は無関心」

隣人になる　12／7

財産は友の数を増す。弱者は友から引き離される。(19:4)

- 貧しさの連鎖
  - 「私たちの社会構造は貧しい人々を隔離しようとしています。そうすると益々貧困はひどくなります」TK
- 隣人になる
  - 「信頼し合ったり、善意や資産を分け合ったり、無料の助言をしたり、受け入れ合って協力したりすること…傷つけることなく人々を助けるために、どのようにして現実的な知恵を深めることができるでしょうか?」TK

貧しくても… 11／30

貧しい人の一生は災いが多いが／心が朗らかなら、常に宴会にひとしい。財宝を多く持って恐怖のうちにあるよりは／乏しくても主を畏れるほうがよい。肥えた牛を食べて憎み合うよりは／青菜の食事で愛し合う方がよい。(15:15-17)

稼ぎが多くても正義に反するよりは／僅かなもので恵みの業をする方が幸い。貧しい人と共に心を低くしている方が／傲慢な者と分捕り物を分け合うよりよい。(16:8,19)

貧乏でも、完全な道を歩む人は／唇の曲がった愚か者よりも幸いだ。欲望は人に恥をもたらす。貧しい人は欺く者より幸い(19:1,22)

貧しい人々を敬う　12／9

弱者を虐げる者は造り主を嘲る。造り主を尊ぶ人は乏しい人を哀れむ。(14:31)

弱者を憐れむ人は主に貸す人。その行いは必ず報いられる。(19:17)

- 貧しい人々を造り主と同じように考える
  - 「神と地上の貧しい人々を同一視するように…彼らに対しての行動は神への行動と同じなのだ」TK
- 「上から目線」でなく
  - 「恵まれた人々にとって、貧しい人たちへの慈善活動が利己主義的になることはよくあります」TK

主は貧しくなられた

あなたがたは、わたしたちの主イエス・キリストの恵みを知っています。すなわち、主は豊かであったのに、あなたがたのために貧しくなられた。それは、主の貧しさによって、あなたがたが豊かになるためだったのです。　（コリント二8:9）